



校旗

長洲町立腹栄中学校

校長名 福島 英士郎
 郵便番号 869-0103
 所在地 長洲町大字腹赤732番地
 TEL 78-0707 (FAX) 78-7105

1 学校の沿革

① 校区の概要

旧腹赤村と旧六栄村が昭和31年に合併し腹栄村となった。更に、翌32年旧長洲町と合併し長洲町となった。山・海両方に面し農漁業を主としていたが、昭和45年、日立造船及びその関連企業等の進出にともない校区も大きく変容した。特に、向野地区には日立造船従業員の団地ができ、大阪等から転入者が増加した。また、向野、高田、鷺巣等の六栄小校区は、新興住宅地として開発が進んだ。それによって、六栄小からの生徒が増加し、本校の生徒増の要因になった。しかし、造船業界の円高による不況は、日立造船（現在は、ジャパン マリンユナイテッド）にも大きな影響を与え、その従業員子弟の転出が相次ぎ、出生数の減少とともに、生徒数の減少が続いている。



② 学校の沿革

昭和22年 学制により、腹赤村立腹赤中、六栄村立六栄中を両村小学校に併設開校。
 昭和26年 腹赤村六栄村組合立腹栄中学校として開校、新校舎落成。
 昭和31年 両村が合併し、腹栄村立腹栄中学校となる。
 昭和32年 町制施行により、長洲町立腹栄中学校となる。
 昭和42年 体育館落成、完全給食開始。
 昭和46年 プール完成。
 昭和52年 9月6日深夜0時10分職員室出火、校舎焼失。
 昭和54年 新校舎完成。
 昭和60年 県教委指定「地域ぐるみの健全育成、豊かな心と確かな学力」研究発表会。
 昭和62年 特別棟新校舎完成。
 平成4年 運動場拡張工事完成。
 平成12年 文科省指定教育課程「総合的学習・選択学習」研究発表会。
 平成13年 学校評議員制度導入。
 平成16年 文科省委嘱「サポートチーム等支援システムづくり推進事業」（平成16・17年）研究推進。
 平成17年 県指定「租税教育推進事業」研究推進。
 平成20年 新体育館完成。
 平成23年 県教委指定「健康教育」（平成22・23年）研究発表会、校舎耐震工事完了。
 平成24年 平成24年度全国学校体育研究優良校受賞。
 平成27年 県立教育センター学校経営コンサルティング事業研究協力校指定

2 児童生徒の推移

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
人数	309	287	291	272	251	253	274	269	270	238	233	217	213

3 平成27年度の職員構成(5月1日現在：男12名、女7名 計19名)

年齢	20代	30代	40代	50代	計
人数	1	7	6	5	19

4 我が校の自慢

① フェニックス

校庭には、本校舎建築当時より、フェニックスが海風に揺れています。



② 団結の塔

昭和59年から引き継ぎ続けています。今年も力強く作り上げることができました。



③ 門松づくり

学校の応援団として地域や保護者の方の協力のもと、12月に門松を作り、正門に飾りました。

④ 「あ・そ・ふ・じ」の徹底

基本的な生活習慣の習慣化として「あ（挨拶）・そ（無言掃除）・ふ（服装を正す）・じ（時間を守る）」を合い言葉として実践をしています。



5 教育活動の実践

○ 教育目標

笑顔追求（腹栄中大好き）

○ 教育像

阿蘇山のように、富士山のように、生徒が育ち生徒が輝く腹栄中

めざす学校像 ～こんな学校に～

- 生徒の誰もが毎日登校したくなる魅力ある学校
- 保護者の誰もが安心して通わせたい信頼される学校
- 先生の誰もが勤務して良かったと言える学校
- 地域の誰もが愛し、親しみ自慢する学校

めざす生徒像 ～こんな生徒に～

- 礼節を重んじ自他の人権を尊重する生徒
- 全校ランニング等で心身の鍛錬に励む生徒
- 立腰で英知を求め自ら気づき考え学習する生徒

めざす教師像 ～こんな先生に～

- 生徒を認め褒め励まし伸ばす教師
- 授業で勝負する教師
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される教師

○ 本年度の校内研究テーマ

生徒一人一人の確かな学力の育成

～教師の意識改革による授業改善を通して～

視点1 授業改善（学ポートの活用）

視点2 学習習慣の定着（立腰の徹底）

